

2023年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月8日

上場会社名 初穂商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 7425 URL <https://www.hatsuho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 斎藤 悟

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理室長

(氏名) 成田 哲人

TEL 052-222-1066

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	16,435	8.3	734	16.6	803	12.1	466	15.8
2022年12月期第2四半期	15,175	5.9	630	103.6	716	74.5	402	100.0

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 531百万円 (13.5%) 2022年12月期第2四半期 467百万円 (75.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	284.77	
2022年12月期第2四半期	246.08	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	20,185	9,146	40.3
2022年12月期	21,109	8,768	36.8

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 8,132百万円 2022年12月期 7,778百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期		0.00		80.00	80.00
2023年12月期(予想)				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,600	5.7	1,410	9.5	1,530	6.9	890	4.1	543.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	1,740,330 株	2022年12月期	1,740,330 株
期末自己株式数	2023年12月期2Q	98,104 株	2022年12月期	103,745 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	1,638,215 株	2022年12月期2Q	1,636,585 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症について、感染症法上の位置づけが「5類感染症」へ移行したことにより、行動制限が大幅に緩和され、ウィズコロナの下で社会経済活動の正常化に向けた動きが進み、景気は穏やかな回復基調で推移いたしました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、世界的なインフレ及び金融引締めに伴う景気後退リスクが懸念されております。

建設業界におきましては、公共投資においては底堅く推移しており、民間投資におきましては、住宅建設は底堅い動きとなっており、首都圏のマンション総販売戸数は弱含みで推移しております。また、鋼材等の原材料価格は高止まりしておりますが、堅調な企業収益等を背景に、設備投資需要は持ち直しており、先行きについても持ち直し傾向が続くことが期待されております。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、建設セグメントのビジネスに特化した建設資材商社のNo. 1を目指し、三本の事業の柱による多角的な成長戦略に取り組んで参りました。前年から原材料価格の高止まりが続いており、価格競争は激しさを増しておりますが、全事業セグメントにおいて、仕入れコストの相場変動に柔軟に対応した適正な販売価格を維持し、収益力の向上に取り組んで参りました。また、労務環境の改善に伴う人件費の上昇など経費が増加しておりますが、建設需要が持ち直しつつあるなかで積極的な受注活動に取り組んできたことにより、当社グループの業績は、前年同四半期比において増収増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、164億35百万円(前年同四半期比8.3%増)、営業利益7億34百万円(前年同四半期比16.6%増)、経常利益8億3百万円(前年同四半期比12.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億66百万円(前年同四半期比15.8%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(内装建材事業)

内装建材事業は、売上高は79億59百万円(前年同四半期比15.4%増)、営業利益は5億91百万円(前年同四半期比47.0%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間においては、全国的に建設需要が回復傾向であったこと及び仕入価格相場に対応した適正な販売価格の維持を徹底したことにより、前年同四半期比において増収増益となりました。

(エクステリア事業)

エクステリア事業は、売上高は62億23百万円(前年同四半期比5.3%増)、営業利益は3億42百万円(前年同四半期比7.1%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間においては、販売店向け記念キャンペーン等の営業活動の積極的な展開により、前年実績を上回る売上高となりました。利益面におきましては、体制強化に向けた積極的な人員拡充等による人件費の増加により、利益を押し下げる要因となりました。その結果、前年同四半期比において増収減益となりました。

(住環境関連事業)

住環境関連事業は、売上高は23億34百万円(前年同四半期比2.5%減)、営業利益は98百万円(前年同四半期比18.0%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間においては、主にALC金具副資材の販売における中京圏の物流倉庫の建設需要の減退やALC建材の代替製品の普及から工事案件の受注が減少したこと等により、前年同四半期比において減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は201億85百万円となり、前連結会計年度末に比べて9億24百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が7億66百万円、受取手形及び売掛金が6億53百万円、顧客関連資産が26百万円減少し、土地が3億25百万円、有形固定資産のその他が1億44百万円、投資その他の資産のその他が37百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は110億38百万円となり、前連結会計年度末に比べて13億3百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が11億81百万円、未払法人税等が56百万円、賞与引当金が57百万円、流動負債のその他が1億28百万円、役員退職慰労引当金が2億42百万円減少し、長期借入金が1億39百万円、固定負債のその他が1億98百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は91億46百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億78百万円増加いたしました。これは主に、配当金の支払及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が3億35百万円、非支配株主持分が24百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ、7億66百万円減少し、47億59百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、2億26百万円(前年同四半期は1億99百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益8億3百万円、減価償却費44百万円の計上、顧客関連資産償却額26百万円、売上債権の減少6億47百万円、その他による増加35百万円の一方で、賞与引当金の減少57百万円、役員退職慰労引当金の減少2億42百万円、棚卸資産の増加18百万円、仕入債務の減少11億54百万円、法人税等の支払額3億12百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、5億39百万円(前年同四半期は20百万円の獲得)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入3億90百万円、保険積立金の解約による収入18百万円の一方で、定期預金の預入による支出3億90百万円、有形固定資産の取得による支出5億19百万円、貸付けによる支出10百万円、保険積立金の積立による支出30百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、0百万円(前年同四半期は4億3百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入れによる収入4億円の方で、長期借入金の返済による支出2億30百万円、配当金の支払額1億30百万円、非支配株主への配当金の支払額36百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期通期の業績予想につきましては、2023年2月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想について修正しております。詳細につきましては、2023年7月27日公表の「第2四半期(累計)及び通期の業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

[ご参考 2023年度(2023年12月期連結業績見通し)]

売上高	336億円
営業利益	14億10百万円
経常利益	15億30百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	8億90百万円

(注) 上記連結業績見通しに関する注意事項

2023年度(2023年12月期)連結業績予想値は、現時点で入手可能な情報をもとに行った見通しであります。そのため、上記連結業績予想数値はこれらの要因の変動により大きく異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,946,037	5,179,959
受取手形及び売掛金	6,791,896	6,138,060
電子記録債権	1,202,454	1,182,756
商品	1,388,709	1,410,074
その他	136,001	145,756
貸倒引当金	△1,353	△1,456
流動資産合計	15,463,746	14,055,151
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,930,297	3,255,504
その他(純額)	849,837	994,227
有形固定資産合計	3,780,135	4,249,731
無形固定資産		
顧客関連資産	377,616	350,643
その他	20,894	24,374
無形固定資産合計	398,510	375,018
投資その他の資産		
その他	1,514,155	1,551,627
貸倒引当金	△46,749	△46,341
投資その他の資産合計	1,467,405	1,505,286
固定資産合計	5,646,051	6,130,036
資産合計	21,109,798	20,185,187
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,704,684	7,522,784
電子記録債務	890,847	886,338
短期借入金	370,000	370,000
1年内返済予定の長期借入金	366,680	396,663
未払法人税等	355,055	298,449
賞与引当金	184,599	127,370
その他	643,574	514,777
流動負債合計	11,515,441	10,116,382
固定負債		
長期借入金	262,557	401,722
役員退職慰労引当金	265,834	23,822
資産除去債務	26,596	26,692
その他	271,082	469,821
固定負債合計	826,071	922,058
負債合計	12,341,512	11,038,440

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,134	885,134
資本剰余金	1,316,174	1,324,253
利益剰余金	5,689,152	6,024,734
自己株式	△123,779	△117,315
株主資本合計	7,766,682	8,116,806
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,828	15,330
その他の包括利益累計額合計	11,828	15,330
非支配株主持分	989,774	1,014,609
純資産合計	8,768,285	9,146,746
負債純資産合計	21,109,798	20,185,187

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	15,175,383	16,435,467
売上原価	12,395,291	13,426,634
売上総利益	2,780,091	3,008,832
販売費及び一般管理費	2,149,967	2,274,100
営業利益	630,124	734,732
営業外収益		
受取利息	1,646	1,666
受取配当金	862	955
仕入割引	49,291	50,980
投資有価証券売却益	6,500	1,618
その他	30,862	17,313
営業外収益合計	89,163	72,534
営業外費用		
支払利息	1,828	1,672
賃貸費用	610	946
固定資産除却損	3	719
その他	170	248
営業外費用合計	2,612	3,586
経常利益	716,675	803,680
税金等調整前四半期純利益	716,675	803,680
法人税、住民税及び事業税	293,993	258,411
法人税等調整額	△47,736	17,898
法人税等合計	246,256	276,309
四半期純利益	470,418	527,371
非支配株主に帰属する四半期純利益	67,686	60,862
親会社株主に帰属する四半期純利益	402,732	466,508

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	470,418	527,371
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,444	3,734
その他の包括利益合計	△2,444	3,734
四半期包括利益	467,974	531,105
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	402,031	470,011
非支配株主に係る四半期包括利益	65,942	61,094

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	716,675	803,680
減価償却費	47,282	44,567
顧客関連資産償却額	26,972	26,972
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,080	△57,229
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△710	△304
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△493	△242,012
受取利息及び受取配当金	△2,508	△2,622
支払利息	1,828	1,672
固定資産除却損	3	719
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,500	△1,618
売上債権の増減額(△は増加)	110,706	647,539
棚卸資産の増減額(△は増加)	△324,823	△18,481
仕入債務の増減額(△は減少)	△457,952	△1,154,075
その他	903	35,544
小計	114,462	84,351
利息及び配当金の受取額	2,485	2,602
利息の支払額	△1,795	△1,646
法人税等の支払額	△315,125	△312,878
法人税等の還付額	—	1,169
営業活動によるキャッシュ・フロー	△199,973	△226,402
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△410,585	△390,355
定期預金の払戻による収入	410,584	390,354
有形固定資産の取得による支出	△35,669	△519,555
有形固定資産の売却による収入	2,137	386
無形固定資産の取得による支出	△320	△7,010
投資有価証券の取得による支出	△838	△455
投資有価証券の売却による収入	39,693	2,120
貸付けによる支出	—	△10,730
貸付金の回収による収入	2,117	7,910
保険積立金の積立による支出	△28,007	△30,883
保険積立金の解約による収入	41,449	18,945
その他	△10	△440
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,551	△539,712
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	△249,990	△230,852
自己株式の取得による支出	—	△456
配当金の支払額	△114,112	△130,519
非支配株主への配当金の支払額	△37,740	△36,260
その他	△2,141	△1,876
財務活動によるキャッシュ・フロー	△403,984	36
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△583,405	△766,078
現金及び現金同等物の期首残高	4,997,980	5,525,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,414,574	4,759,373

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、2023年3月28日開催の第65回定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打ち切り支給を決議いたしました。これに伴い、当社にて計上しておりました「役員退職慰労引当金」154,022千円を取り崩し、「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	内装建材事業	エクステリア事業	住環境関連事業	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	6,899,601	5,881,142	2,394,639	15,175,383
外部顧客への売上高	6,899,601	5,881,142	2,394,639	15,175,383
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	27,327	-	27,327
計	6,899,601	5,908,470	2,394,639	15,202,711
セグメント利益	402,374	368,694	120,278	891,347

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	891,347
全社費用(注)	△261,223
四半期連結損益計算書の営業利益	630,124

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	内装建材事業	エクステリア事業	住環境関連事業	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	7,959,098	6,141,658	2,334,710	16,435,467
外部顧客への売上高	7,959,098	6,141,658	2,334,710	16,435,467
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	81,350	—	81,350
計	7,959,098	6,223,008	2,334,710	16,516,817
セグメント利益	591,510	342,349	98,632	1,032,492

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,032,492
全社費用(注)	△297,759
四半期連結損益計算書の営業利益	734,732

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。